

教科	工業	科目	工業技術基礎
履修条件 対象生徒	全員履修 デザイン科 1学年		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 工業の各分野にわたる基礎的技術を総合的な実験・実習によって体験し、各分野における技術への興味関心を高め、工業に関する広い視野を養うとともに、問題解決の能力を伸ばし、工業に関する意欲的な態度を身に付ける。 デザインに関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 		
学習方法	<p>[授業]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「写真」・「ファイバークラフト」・「セラミッククラフト」・「ウッドクラフト」の各ショップを4班でローテーションし、それぞれの学習を行う。各ショップとも設定された課題の制作を中心とする。 ローテーション終了後はクラス単位で基礎的な素材探求を行う。 <p>[家庭学習]</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に課さないが、提出期限に間に合わない場合は家庭に持ち帰り作品を完成させることもある。 <p>[補習・その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> 制作進度に合わせて、放課後等に個別補習を行う。 		
学習計画 と ねらい	<p>1 オリエンテーション</p> <p>2 写真</p> <p>(1) カメラの原理と設定</p> <p>(2) 光、構図の理解</p> <p>(3) テーマ撮影</p> <p>(4) 印刷</p> <p>3 ファイバークラフト</p> <p>(1) 繊維素材の理解</p> <p>(2) 素材探求</p> <p>(3) ペーパークラフトの制作</p> <p>4 セラミッククラフト</p> <p>(1) セラミッククラフトの基礎</p> <p>(2) 茶碗制作 (玉づくり技法)</p> <p>(3) 花瓶制作 (縄づくり技法)</p> <p>5 ウッドクラフト</p> <p>(1) ウッドクラフトの基礎</p> <p>(2) カトラリーの製作</p> <p>ア 木取り</p> <p>イ 粗取り</p> <p>ウ 研磨</p> <p>エ 仕上げ (植物オイル)</p>	<p>○1年間の学習計画を理解し、実習における基本的な心構えを身に付ける。</p> <p>○デジタルカメラの原理と設定方法を学ぶ。</p> <p>○光や構図を意識した撮影を行う。</p> <p>○テーマを設定し撮影する。</p> <p>○様々な写真用紙を用いて印刷する。</p> <p>○繊維の種類や繊維素材の特徴を理解する。</p> <p>○様々な加工方法を学ぶ。</p> <p>○造形要素を応用しペーパークラフトデザインする。</p> <p>○制作に使用する砥部の粘土と信楽の粘土の特性などを学ぶ。</p> <p>○用具の取り扱いを身に付け、茶碗・花瓶形成の基本技法 (玉づくり技法・縄づくり技法) を学ぶ。</p> <p>○ウッドクラフトの基礎を理解し、用具の安全な取り扱い方を身に付ける。</p> <p>○カトラリーの製作を通して制作段階に応じた削り方や磨き方、木目に合わせた加工方法を学ぶ。</p>	
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	デザインの各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、各ショップに関連する技術を身に付けている。	各ショップが設定する課題の中で、デザインに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	各ショップの技術や表現方法を理解し、デザインの発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 各ショップの制作意図、制作過程、自己分析、鑑賞などの取り組みを総合的に判断して評価する。また各ショップの評価を平均して科目 (工業技術基礎) の評価とする。 学習態度、出席状況、実習ノート、実習服の着用を評価に反映させる。 		